

# 令和3（2021）年度 【科学と人間生活】

68 新潟県立高田南城高等学校（通信制）

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
2	必履修	6	8	2
教科書			学習書・他教材	
改訂 科学と人間生活（東京書籍）			なし	

学習目標
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方はたらかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲
1 ヒトの生命現象	・ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解する。	前期試験
2 微生物とその利用	・微生物に関する観察、実験などを行い、微生物のはたらきを人間生活と関連付けて理解すること。	
3 物質の科学	・金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用、身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解する。	
4 光や熱の科学	・光と熱に関する観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用、熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。	後期試験
5 太陽と地球	・天体に関する観察、実験などを行い、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解する。	
6 自然景観と自然災害	・自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について人間生活と関連付けて理解する。	

評価規準と評価方法					
次の4つの観点に基づき評価を行います ①関心・意欲・態度：自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。 ②思考・判断・表現：自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見だし、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ③観察・実験の技能：自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。 ④知識・理解：自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、観察、実験などを通して理解し、知識を身に付けている。					
評価方法・観点	①	②	③	④	備考
スクーリング状況	◎			○	プリントの活用状況、
レポート	○	◎	◎	◎	提出状況、評価
定期考査		○		◎	年2回実施
実験レポート	○	○	◎		レポート中の実験やスクーリング時の実験
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。 ・定期考査の成績、提出レポート、その他スクーリングや実験への取り組みなどを成績に加味し、総合的に評価します。 ・各レポートにA～E（Eは再提出）の評価をつけます。提出期限を過ぎたレポートは大幅に減点します。提出期限を守って提出してください。					

授業の進め方、課題・提出物など
スクーリングはレポート（報告課題）の内容に沿って実施します。教科書を使用し、主にプリント形式で進めます。授業で作成したプリントはレポートと一緒に提出してもらってもあります。また、スクーリングで簡単な実験を行うこともあります。特別教室、校外学習もあるので月報等の授業計画をみて、積極的に参加してください。
学習方法
レポートは教科書や学習書を調べ、自分で作成してください。ヒントとなるページが掲載されている場合はそこを通読して取り組んでください。また、スクーリング時にはレポートの内容の解説も行います。まずレポートに挑戦して、その後にレポートに対応したスクーリングに参加すると、学習効果が上がります。自分で調べてもわからないところは担当に聞きにきてください。
担当者からのメッセージ
・スクーリングはチャイムと同時に始まりますので、教材を用意して着席をしていてください。他人の迷惑になるので絶対に遅れないようにしてください。 ・NHK高校講座や図書館などを利用し、自学自習を心がけてください。

